

CASBEE[®]-不動産【集合住宅】評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-不動産 2024年版v1.0

建物概要					
建物名称	アーバンフラッツつつじヶ丘	敷地面積	1,390 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	東京都調布市	建築面積	616 m ²	評価の実施日	2025年3月5日
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域	延床面積	2,828 m ²	作成者	福士 明子
建物用途	共同住宅	階数	地上5F、地下1F	不動産評価員番号	ふ-001189-27
竣工年月	2002年2月18日	構造	RC造	確認日	2025年3月10日
直近の大規模改修実施年月	—	平均居住人員	112 人	確認者	福士 明子
		年間使用時間	8,760 時間/年	不動産評価員番号	ふ-001189-27

評価結果									
72.8 /100		合計		ホールライフカーボンの評価				評価しない	
(得点 / 満点)									
S ランク:★★★★★		≧	78						
A ランク:★★★★		≧	66						
B+ランク:★★★★		≧	60						
B ランク:★★★		≧	50						
ポイントは小数点第1位までの表示とする									
				取組項目数：A1-A5				B1,B3-B5	
				B6-B6				C1-C4	

1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点	必須項目	指標（※は参考値）	評価値	
適合	加点 1	根拠等:省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制 実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定	一次エネルギー(目標値)	123	MJ/m ² ・年
15.0	20 / 15	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)	123.8	MJ/m ² ・年
		根拠等:実績値より	二次エネルギー(*)	12.7	kWh/m ² ・年
			GHG排出量(*)	5.4	kg-CO _{2eq} /m ² ・年
5.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	共用部の評価		
		根拠等:エネルギー消費量実績値一覧参照 二次エネルギー＝一次エネルギー/9.76 GHG排出量を算出する係数は0.429kg-CO2/kWh(電気)	一次エネルギー(実績値)	123.8	MJ/m ² ・年
			二次エネルギー(*)	12.7	kWh/m ² ・年
			GHG排出量(*)	5.4	kg-CO _{2eq} /m ² ・年
1.0	- / 5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	専有部の省エネ対策		
		根拠等:3)	導入された対策項目数	1.0	項目
3.0	5	1.4 自然エネルギー(間接利用)	利用率		
		根拠等:導入していない			
24.0	30.0	合計			

2. 水					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等:目標設定、モニタリング、運用管理体制 水消費実績を把握、次年度省エネ目標設定	水使用量(目標値)	65.1	L/m ² ・年
	0	2.1 水使用量(計算値)	評価しない		
1.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)			
		根拠等:特になし	取組数		項目
4.0	5	2.3 水使用量(実績値)	水使用量(実績値)	65.8	L/m ² ・年
		根拠等:水使用量実績値一覧参照			
5.0	10	合計			

3. 資源利用／安全				
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		根拠等:新耐震基準への適合またはIs値、If値 新耐震基準に適合	なし	
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価	
3.0		3.1.1 耐震性		
		根拠等:建築基準法に定められた耐震性を有する		
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能		
		根拠等:導入していない		
3.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する	
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する	
3.0		① 躯体材料	用いていない	
1.0		② 非構造材料	用いていない	
4.0		3.2.2 廃棄物処理負荷抑制	リサイクル材品目数(非構造材)	品目
	加点 1	根拠等:1)、2)、3)、6)	取組数	4 ポイント
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数	経過年数＋今後の想定耐用年数	年
		根拠等:建築基準法に定める対策が講じられている	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均	
3.5	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー		
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔		
		根拠等:計算式参照	更新年数の平均値	18 年
1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上		
		根拠等:特になし	自給率向上の取組数	項目
5.0		3.4.3 維持管理		
		根拠等:1)～6)	維持管理に関する取組数	13 ポイント
4.0		3.4.4 バリアフリー対策		
		根拠等:バリアフリー法の建築物移動等円滑化基準を満たしている		
12.5	20	合計		

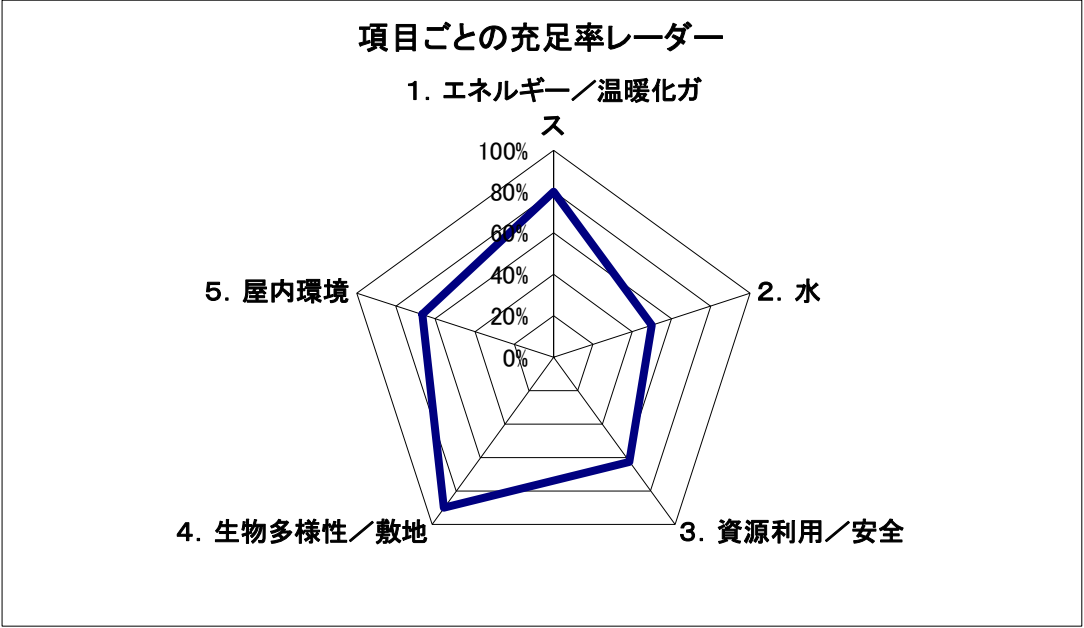
4. 生物多様性／敷地					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等:特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない 特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない	なし		
10.0	10	4.1 生物多様性の向上	②取組表による場合のポイント数	3	ポイント
(4.2対象外の時は点数を倍)		根拠等:1)、3)、5)			
0.0	0	4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生	なし		
[対策不要は対象外]		根拠等:土壤汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない			
3.0	5	4.3 公共交通機関の接近性	鉄道駅またはバス停からの距離	15	分圏内
3.0		4.3.1 公共交通機関の接近性			
		根拠等:柴崎駅 徒歩12分			
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	評価しない		
5.0	5	4.4 自然災害リスク対策	リスクの合計数	1	種類
		根拠等:リスクの合計数は1種のみで、有効な防災対策を実施している			
18.0	20	合計			

5. 屋内環境					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合			
		根拠等 質問票への適合	なし		
5.1 自然利用					
2.3	3	5.1.1 昼光利用	5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3		
2.0		5.1.1.1 自然採光			
		根拠等 計算式参照	開口率	26.4	%
3.0		5.1.1.2 昼光利用設備			
		根拠等 昼光利用設備がある	昼光利用設備	1	種類
1.0	3	5.1.2 通風・排熱			
		根拠等 居室に自然換気開口がある			
2.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり			
		根拠等 天井高2.4m以上、かつ居住者が十分な屋外の情報を得られる窓の設置	天井高	2.4	m以上
5.2 健康・快適					
1.0	2	5.2.1 暑さ・寒さ			
		根拠等 レベル2を満たさない			
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房			
		根拠等 居室に冷暖房装置を実装している			
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気			
		根拠等 化学汚染物質を抑える建材を使用している			
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音			
		根拠等 レベル2を満たさない			
2.0	3	5.3 防犯対策			
		根拠等 エントランスにセキュリティシステムの設置、かつITVカメラ監視			
13.3	20	合計			

6. ホールライフカーボンの評価【任意】					
評価	最大(加点なし)	根拠等	指標	評価値	
	5		取組数	A1-A5	項目
				B6-B7	項目
				B1,B3-B5	項目
				C1-C4	項目

↑評価しない場合は空欄

アーバンフラッツつつじヶ丘



環境性能の特徴

- ・エネルギーの計算値/実績値、水使用の実績値が高得点であり省エネルギー性能が高い。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・敷地内の生物多様性向上に取り組んでいる。
- ・自然災害リスクへの対策が講じられている。
- ・維持管理が適切に行われており、屋内環境も良好である。